

表1 年齢階級別、不慮の事故の死因別、死亡数及び割合(2001年)

年齢階級 死因	0歳児 死亡数(%)	1-4歳児 死亡数(%)	5-9歳児 死亡数(%)
総数	212人	331人	248人
交通事故	25人(11.8)	124人(37.5)	140人(56.5)
不慮の窒息	150人(70.8)	45人(13.6)	11人(4.4)
溺死	11人(5.2)	86人(26.0)	56人(22.6)
火災など	4人(1.9)	29人(8.8)	24人(9.7)
転落・転倒	13人(6.1)	25人(7.6)	5人(2.0)
その他	9人(4.2)	22人(6.6)	12人(4.8)

人間工学からアプローチする快適職場づくり



名古屋大学
情報連携基盤センター
教授 宮尾 克

乳幼児の事故

子どもが減っている。合計(0歳、11位)〜4歳(11位)で特殊出生率(1人の女性が1人の子を産むこと)の減少が、この事故の中身は表1に産む子どもの数の推定値(2002年に1.32)とおりである。交通事故、不慮の窒息、溺死が多い。そのうち、115万人の同級生が「子供の安全ネット」のため、「子供の安全ネット」(ワークシヤパン)では、チャイルドシート(不安全行為)の3つである。このうち、3つが重なって災害が起きる。したがって、予防するためには、機械・環境側の危険要因を、設

職場の事故

労働災害の場合、備改善によって危険でないように変更することであり、作業時間規制や保護具・整理整頓などの管理的手法で、管理落・転落、はさまれ・巻き込まれ、崩壊・倒壊、激突され、飛来・落下の順に多い。このように耐えることである。

事故には、3つの要因から起る

危険要因への感受性を高める
KYT
(危険予知トレーニング)

表2 起因物別・事故の型別死亡災害発生状況(全産業)(平成13年1月~12月)

起因物 事故の型	人数
墜落・転落	461人
はさまれ・巻き込まれ	229人
崩壊・倒壊	112人
激突され	108人
飛来・落下	91人
転倒	35人
火災	40人
高温・低温の物との接触	37人
感電	30人
交通事故	563人
その他	84人
合計	1,790人

予知能力がある。同時に、「簡単に手袋ははめたくない」という自己中心性があり、この自分の「横着さ」に気づけば、内的危険予知の能力があるといえる。つまり、このような設備の内容なら、横着者がこのことをするであろう」という見方で、設

知識であり、知識がない場合は予知できない。価値感レベルでは、安全行動の価値と、パイプ修理・交換という行動の価値(修理費や運転停止の損失など)を天秤にかけて、知恵レベルは、パイプの肉厚が薄くなっていれば、高圧で破砕されることがあるという

ず、不安状態の想定にもとづく危険のチェックを職場の作業員全員で討議して、実施事項を定めるのである。その際、だが、いつまでに、何をどのように改善するのかという手順を明確にせねばならない。

連載のわりに

「x」設備は不具合を起こすと、なる可能性がある」などの危険予知である。

リスクアセスメントを通じて
マネジメントへ

リスクアセスメントは、ハザード(爆発、転落、はさまれ、など)を特定し、その可能性と重大性によってリスクの推定を行う。リスクに耐えられるかどうか判断する。

次号からは池松亮子先生(池松武之亮いびき研究所)の「いびきと健康」が始まります。



▶▶59◀◀

1 あなたの産業医歴は?

ワールド統括産業医 中嶋千晶氏

私は大阪市立大学医学部を卒業して、2年間の臨床経験後大学院に進み、87年に修了しました。当時は、THPが提唱され

で、大学院を修了後88年からいくつかの会社の嘱託産業医として健康管理のお手伝いをするようになりました。

当時、糖尿病の教育入院患者の中には定年後の方が多く、87年に修了しました。当時は、THPが提唱され

が糖尿病が専門の故和田正久教授がいらっしゃった第2内科で、和田教授はじめ諸先輩からは「病気を診る医者ではなく、病気を治す医者」と思っていました。



田工業の専属産業医をさせていただくことになりました。三田工業では、経営陣の理

解と協力があつたこと、ワールドでは、健康組合を中心とした健康づくりをやってこられていたことが、昨今の安全衛生法の改正に

2 あなたのやりたいこと、今、取り組んでいることは?

三田工業が、98年に会社更

初めの数ヶ月は、全社的な安全衛生マネジメントの構築を構築するためのアドバイザーとして、その実際の運用に

その中でまず取り組んだのは、各事業所所属の産業医を